

令和4年度 火薬類保安技術実験について

経済産業省による「火薬類保安技術実験」が矢白別演習場で行われますのでお知らせします。

1 火薬類保安技術実験の目的

火薬類保安技術実験は、火薬類による災害を防止し、公共の安全を守ることを目的とした火薬類取締法を、適切かつ確実に施行するため、火薬類の製造、貯蔵、運搬、消費等に係る保安技術基準を策定するために行っている。

昭和36年以降、民間の事業所や試験研究機関では実施できない爆発実証実験を陸上自衛隊の協力を得て行っており、この実験で得られた科学的データは、火薬類取締法の技術基準の見直しに反映されるとともに、工室及び火薬庫設置の際の特則承認等の根拠、火薬学の研究上の資料及び事業者における保安指針などに広く活用されている。

2 実施期間 令和4年11月16日（水）から11月25日（金）まで

3 実験場所 陸上自衛隊矢白別演習場爆破訓練場

4 実験概要

(1) 地上式火薬庫の土堤に関する実験（3ショット）

地上式火薬庫の土堤に関して、ソイルセメントを用いて内面を垂直とした土堤、並びに、45度及び60度の傾斜とした土堤内面の下半分をコンクリート擁壁で覆った土堤について、合計3回の爆発実験を行い、飛散物、爆風圧、地盤振動、騒音、衝撃波伝播状況等測定する。1回の実験で含水爆薬80kgを使用する。

(2) 基準爆風圧実験（1ショット）

土堤を除いて（1）と同じ条件で爆発させる実験を行い、基準となる爆風圧等のデータを取得する。実験（1）で計測される爆風圧等との比較を行う。含水爆薬80kgを使用する。

5 スケジュール

11/16 (水)

～11/17 (木) 準備

11/18 (金) 準備・実験会議

11/19 (土) 11:30 内側垂直ソイルセメント土堤に関する実験

11/20 (日) 11:00 内側45度土堤及び1/2擁壁に関する実験

11/21 (月) 予備日

11/22 (火) 11:00 内側60度土堤及び1/2擁壁に関する実験

11/23 (水) 10:30 基準爆風圧に関する実験

11/24 (木) 徴収

11/25 (金) 予備日

※ 気象状況により、実験の順番を変更することがある。

◆この実験に関する問合せ先

公益社団法人全国火薬類保安協会 TEL 03-3553-8762